

2026年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻  
入学試験問題

試験科目

法学又は政治学の基礎に関する論文

問1. 法学を選択する者は、次に掲げる(1)及び(2)のうちのいずれか1題を選択して解答しなさい。

(1) 【別紙1】所掲の新聞記事の抜粋を読み、当該記事で取り上げられている事象が、法的にどのような問題を孕んでいるのかを論じなさい。

(2) 【別紙2】所掲の新聞記事の抜粋を読み、当該記事で取り上げられている事象が、法的にどのような問題を孕んでいるのかを論じなさい。

《注意事項》

- ・解答の冒頭に、選択した問題の番号を明記すること。
- ・両方の問題に解答した場合は、不正な答案とみなす。
- ・これは、特定の法律や制度に関する知識の量を測る試験ではなく、現実の社会問題を法的に分析する力を測る試験である。
- ・解答の分量は指定しない。成績評価は、文章量の多寡よりも、法的に明瞭で論理的な文章であるかどうかを重視して行う。

【別紙1】(出典：朝日新聞 2024年4月16日 朝刊27ページ 東京本社)

この部分につきましては、  
著作権の都合により公開いたしません。

【別紙2】（出典：朝日新聞 2025年4月12日 朝刊1ページ 東京本社）

この部分につきましては、  
著作権の都合により公開いたしません。

2026年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻  
入学試験問題

試験科目	法学又は政治学の基礎に関する論文
<p>問2 <u>政治学</u>の基礎に関する問題を選択する場合には、以下の5問のなかから<u>2問</u>を選び、解答しなさい。解答する問題の番号を明記すること。</p> <p>(1) ジョン・ロールズの『正義論』における「無知のヴェール」の思考実験は、現代社会の経済的格差の是正にどの程度有効か。コミュニタリアンによる批判を踏まえ、その有効性と限界について論ぜよ。</p> <p>(2) 近年、世界各地で見られる「民主主義の後退」の現象について、その主要な原因を二つ以上特定し、その進行を食い止めるための制度的対策について論ぜよ。</p> <p>(3) 主権国家の国内で大規模な人道危機が発生した場合、「人道的介入」は国際政治において正当化されるか。論ぜよ。</p> <p>(4) 20世紀に確立された伝統的な福祉国家モデルが、グローバル化や少子高齢化によってどのように変容を迫られているか。その構造的な課題と対応策について論ぜよ。</p> <p>(5) クォータ制は、女性の政治参加を促進するうえで有効な手段とされる。クォータ制の導入が民主主義の質に与える影響について、肯定的な側面と批判的な側面の両方を論ぜよ。</p>	